

平成24年度 セミナー報告

2/5 (火)

家庭のなかでの男女共同参画

～これからの自分探し～

講師：神津はづきさん (女優)



群馬県地域婦人団体連合会と共催で、群馬県生涯学習センターにおいて「神津はづき講演会」を開催しました。当日は参加者249人が、はづきさんの巧みな話術に酔いしれました。

以下は講演内容の抜粋です。

幼少の頃の話し

・母 (中村メイコ) は週に12本レギュラーがあり、父 (神津善行) はオーケストラの作曲を1日でする大変多忙な両親で、常時お手伝いさんが4人、譜面書きが20人いるにぎやかな家庭だった。

・母は大変ポジティブで現実的な人。悩み事の相談をしても、いつのまにか笑い話になっていたりと、自宅パーティで私がのんきにしていると「あなたはお姫様じゃない。愛想良くして働きなさい」と自分の身の程を理解させたりもした。

・姉 (神津カンナ) は素晴らしい人物。いつも冷静沈着で家族の調整役だった。そんな姉に庇護され居心地は良かったが、私は自分に自信が持てなかった。

・父 (神津善行) はオーケストラの作曲を1日でする大変多忙な両親で、常時お手伝いさんが4人、譜面書きが20人いるにぎやかな家庭だった。

父母との信頼関係

・小学校6年の時、個性のない自分が嫌になり毎日変装して街に出ていた。破れたGパン、下駄、派手なマニキュア、珍妙なお化粧で、何人が振り返るか記録をつけていた。しかしそんな時も、両親は何も言わずじっと見守ってくれた。大層心配だったと思うが、私を信頼してくれていたんだと思う。

・子育てや家庭内の出来事にジタバタしないという今の自分の根っ子になった手紙がある。その手紙は海外留学する際に父からもらったもので、『悲しいこと、つらいこと、寂しいこと、沢山経験してきてください。未来に向かって歩きだそうとしている今なら必ず乗り越えられます。それがいつか必ず自分の助けになるから』と書かれていた。

夫のこと

・夫 (杉本哲多) はすごい亭主関白だが、子煩悩な面もある。「公園デビュー」は夫がした。子どもと二人で旅行もする。

・私も仕事を始めたいとジレンマを感じていた時、樹木希林さんから言われた『あなたは家庭の土 (土台) を耕してみない? その上に、哲多さんに家を建ててもらいましょうよ。今は黙って地面をしっかりと造ってみたら』という言葉で、家庭にいる決心をした。

・夫婦間の役割は明確に決めていないが、お金を稼ぐのは夫にはかなわないので、その他の部分で私にできることをしようと思っている。全てが平等というわけにはいかないが、お互いの思いやりによってうまくいっている。

・現在は、希林さんに言われたとおり「いい土」ができ、いい家が建ったと思っている。



2/10 (日)

ぐんまのイクメン養成塾

～父親が変われば、社会が変わる～

講師：安藤哲也さん (NPO法人ファザーリングジャパン ファウンダー)



このセミナーは、父親を楽しむコツや子育てと仕事との両立 (ワークライフバランス) について学んでもらおうと、子育てのエキスパートである安藤哲也さん (NPO法人ファザーリングジャパン ファウンダー/副代表) を講師にお迎えし開催したものです。

安藤さんは、「父親が変われば、社会が変わる～ファザーリングのすすめ」と題し、「ファザーリングは、父親であることを楽しもうということです。育児は期間限定の次世代育成プロジェクトであり、地球上で父親ほど素晴らしい仕事はありません。よい父親でなくてもいいのです。笑っている父親になりましょう。」と呼びかけ、小さい子どもを持つ父親ら約50人が熱心に耳を傾けていました。(この事業は、県労働政策課との共催で開催しました)



<アンケートより>

・具体的な事例を踏まえながら楽しく聴くことができました。

・PTAやパパ友など自分でも率先して育児に参加してきたつもりでしたが、妻を楽しませていなかったことに気がきました。これからは妻の笑顔を増やすことを目標にしようと思います。

・子育ては今しかないのを楽しみたいと思います。

・今まで先入観にとらわれ過ぎていたことがわかりました。家族が笑顔でいられるように考え、行動するよう心掛けたいと思いました。

・父親や母親だけでなく、共に働く人たちとも共有したい内容でした。

・母親目線からの話もあり、堅苦しくなく聞きやすかったです。



子育てを一緒に楽しもう 手形づくり教室

参加者募集

【日時】平成25年4月21日 (日) 午前10:30～11:30

【場所】ぐんま男女共同参画センター

【講師】高橋さゆりさん (玉村町・和い輪ネットワーク代表)

【対象】6ヶ月～3歳のお子さんとその保護者

【費用】紙粘土1個500円 (お子さん1人1個まで)

・定員 20家族 (先着順)
・お申し込み・お問い合わせは、当センターまで。

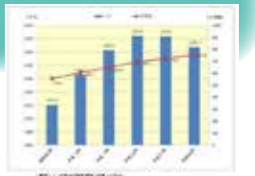
【4月4日 (木) から受付いたします】



群馬県

男女共同参画データブック

(ウェブ版) のご案内



データブックは、政策・方針決定過程や就業、ワーク・ライフ・バランスなど、各分野における群馬県に関する統計データを男女共同参画の視点で収集しています。ぐんま男女共同参画センターと、同センターの利用団体である「性別の社会科学ARG」の協働作業により平成23年度に作成しました。

データブックにより、男女間における意識の偏り、格差や差別の現状などが把握できます。例えば、いわゆるM字カーブですが、変化が出てきました。群馬県の女性の年齢別有業率は、かつて30歳代前半に落ち込みがありました。しかし、近年その解消が見られてきており、全国に先立ってM字型から台形へと変わってきました。このような様子がグラフで確認できます。勉強や様々な活動の際にご参照ください。

データブックはホームページからご覧いただけます。
<http://www.pref.gunma.jp/04/p03100040.html>

登録団体 ● 活動報告



講師の竹信三恵子さん

NPO法人ウィメンズウィルぐんまは、地域における男女共同参画促進を支援するためのアドバイザー派遣事業 (内閣府) として、セミナー『女性が日本を救う? 『経済社会の活性化と女性の役割』』を開催しました。

講師の内藤和美さん (お茶の水女子大等非常勤講師) と竹信三恵子さん (和光大学教授) は、少子高齢化社会の日本経済再生の鍵は女性の活用であると訴えていました。

(日時:平成24年12月1日 (土)、平成25年2月2日 (土))
会場:ぐんま男女共同参画センター)